

令和4年度 第1回 香南市産業振興計画策定委員会【議事録】

日時：令和4年5月30日(月) 13:30～16:00

場所：のいちふれあいセンター2F

出席者：38人(策定委員16人・市職員20人 ※市長含・傍聴者2人)

1.開催目的

令和3年度の総括及び令和4年度の事業計画について、また、当計画の変更点について各分野の担当課長より報告及び説明を行い、各分野別部会長をはじめ、有識者や産業関係団体の代表者と分野を超えた横断的な議論を交わす。

2.議題

- ① 令和3年度の総括及び令和4年度の取り組みについて
- ② 香南市産業振興計画(令和4年度版)の改定について

3.内容

- ・ 次第に沿って進行
- ・ 令和4年4月27日から5月12日に開催された各分野別部会の協議内容と総括及び令和4年度の取り組みについて各担当課長より報告。
- ・ 各部会長より補足説明等。
- ・ 上記のことについての意見交換及び策定に向けた動きの確認。

◆ 開会

(商工観光課 小林主幹)

ただ今より令和4年度第1回香南市産業振興計画策定委員会を開催いたします。

本日はご多用のところ、また、お足元の悪いところ、本委員会にご出席をいただきありがとうございます。

また、当委員会の委員をお引き受けいただき重ねて御礼申し上げます。

委員の皆様の中には委嘱状をお配りさせていただいておりますのでご確認をお願い致します。

それでは、本日の委員の出欠席についてご連絡いたします。

本日の会は、香南市産業振興計画策定委員会設置条例第6条の規定に基づき、過半数以上の方にご出席いただいておりますので本会が成立いたしますことをご報告いたします。

それでは開会にあたりまして濱田市長よりご挨拶を申し上げます。

(濱田市長)

お世話になります。

本日は産業振興計画策定委員会ということでお集まりいただきありがとうございます。

当計画は香南市の産業を支えていくメインエンジンであります。

皆様のご尽力で香南市をいかに盛り上げていくかということをしつかりとご議論いただき、我々も施策に落とし込ん

でいきたいと考えています。本日はよろしくお願いいいたします。

(商工観光課 小林主幹)

ありがとうございました。

本日は、新たな委員となって初めての会となりますことから、次第にはありませんが自己紹介をお願いしたいと思います。赤池委員より順にお願いします。

※ 自己紹介 16名

ありがとうございました。

それでは、次第に沿って進行させていただきます。

次第3「委員長の選出」に移らせていただきます。

本日の会は、新たな委員となり、初めての会となりますことから、参考資料3の第5条にありますとおり、委員長の選任を行いたいと思います。

まず、当委員会の委員長に立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。

いらっしゃらないようですので、事務局(案)といたしまして、高知大学の赤池様に委員長をお願いしたいと考えますがいかがでしょうか。

※ 拍手にて承認

ありがとうございました。赤池様、3年間よろしくお願います。

(赤池委員長)

委員長を引き受けさせていただきます。

コロナ禍で3年目となる。事業者の方も市民の方も厳しい生活の方もいらっしゃると思います。

産業振興計画で、しっかりと「この先にこういう産業の在り方がある」ですとか、「こういう町にして行くんだ」ということを提示して、今苦しくてももう少し頑張ってみようという計画にしていきたいと思います。

ご協力をお願いいたします。

(商工観光課 小林主幹)

ありがとうございました。それでは議事に入る前に本日の流れをご説明いたします。

まず、委員の皆様には事前に資料をお配りさせていただいておりましたがお手元にございますでしょうか。

また、本日、企画財政課がこの後ご説明いたします資料をお手元に配布してございますのでご確認をお願い致します。

次に次第をご確認ください。

まず、この後、企画財政課より、当計画の親計画であります「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の共有事項についてお話いただきます。その後、4の議事へと移らせていただきます。

4.議事では、2つの議事を予定しています。

1つ目は 令和3年度の総括及び令和4年度の取り組みについてということで、各分野の担当課長よりご報告及びご説明をいただき、部会で出た意見の共有や補足説明がある場合は各部会長より説明をいただきます。

2つ目は、前回の策定委員会で承認を受けましたR4年度版の当計画について再度改定をお願いしたくご議論をいただきたいと思いますと考えてございます。

このことにつきましては、皆様に事前にお送りいたしました、「各資料の見方について」という資料に変更点を記載してございますのでご確認をお願い致します。

説明が長くなり申し訳ございませんが、次第の 3. 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略からの共有事項についてに移らせていただきます。

それでは、企画財政課 中川係長よろしく願いいたします。

(企画財政課 中川係長)

香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略を担当しています企画財政課中川と申します。

今日は策定委員会の貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。

また、産業振興計画の策定委員会の委員の皆様には、日頃から香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略へのご協力をいただきありがとうございます。

資料につきましては、3点をお配りさせていただいておりますのでよろしくお願い致します。

香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「香南市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で示している香南市が目指すべき人口の将来展望、2060年に人口30,800人を実現するために、産業振興計画をはじめ各種計画と横断的に連携し、必要な施策を取りまとめた計画となっております。

先月の報道でもありましたように、高知県の人口、住民基本台帳数値になりますが、4月1日時点で677,888人となり、国勢調査が始まった1920年以来の68万人を割る結果となっております。

人口減少に歯止めがかからない状況となっております。

香南市におきましても国勢調査の結果では、平成22年の33,830人をピークに人口が減少しており、令和2年国勢調査では32,207人となっております。

香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略は香南市が直面する人口減少に歯止めをかけるための戦略としてとりまとめた計画となっております。

この総合戦略は平成27年度から取り組みを進めており、現在は第2期の3年目を迎えております。

令和2年度から第2期の総合戦略がスタートしていますが、第2期総合戦略において新たに優先的に取り組む施策の1つとして、次世代を担う若者に香南市の魅力を伝える取り組みの強化の追加を行いました。

総合戦略の4つの基本目標の取り組みの推進や進捗状況の管理とあわせて、香南市の子どもたちに、香南市の魅力を伝え、子どもたちの意見や視点を取り入れた施策の展開や推進を図り、各産業や各種機関と連携しながら、「香南市で働きたい」「住みたい・住み続けたい」「子育てがしたい」と思えるよう取り組んでいるところです。

その取り組みの1つとして、お手元にお配りしております、子ども・若者向けの総合戦略「こうなんの未来」を令和2度に作成し、市内の小学6年生・中学3年生・18方を対象に配布しまして、市の人口のことや、総合戦略における市の取り組み等を伝えております。

また、同時にこの「こうなんの未来」を読んでいただきアンケート調査も実施しています。

お手元にお配りしております「魅力ある香南市をつくるアンケート調査結果」につきましては、香南市の人口の将

来展望や総合戦略に盛り込む事業等の検討に活用することを目的とし、若者の香南市でのくらしや定住についての意見、香南市に望む意見等の内容となっております。

R2 年度よりこのアンケート調査を実施しており、総合戦略の策定委員会の中でもこのアンケートの結果について議論を重ねています。

本日は香南市産業振興計画の委員の皆様にも共有を図りたいと本日お配りをさせていただきました。

子どもたちや若者の視点での考えや思いが詰まったものとなっております。

市で実施するのは困難なものや、既に取り組んでいるもの等もありますが、今後の産業振興計画での議論や新たな事業等の検討の材料としてご活用していただけたらと思います。

なお、先日開催されました産業振興計画の分野別部会の委員の皆様にもお配りをさせていただいております。このアンケート調査につきましては第 2 期の総合戦略の計画期間中の令和 6 年度まで毎年度実施する予定となっております。今年度の調査結果もまた共有させていただきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(商工観光課 小林主幹)

ありがとうございました。

本件は共有事項となりますが、ご質問等がありましたらこの後の議事の中でいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは 4.議事 に移りたいと思います。

ここからの進行につきましては、香南市産業振興計画 策定委員会 赤池委員長にお渡しをさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(赤池委員長)

本日はよろしくお願いいたします。

議事に入る前に、新たな委員でスタートすることから、この会議がどんな会議で、何をやる場所なのかという部分を共有して行きたいと思っております。

企画財政課の資料「第 2 期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とある資料の 5 ページをご確認ください。

先ほど、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略という、香南市の地方創生に関する戦略をご説明いただきました。

私たちの産業振興計画策定委員会というのは、まち・ひと・しごと創生総合戦略を支える 1 つの計画であり、特に「産業」や「まちづくり」に関して議論する場となっております。

産業振興計画策定委員会は、香南市の条例に定められている委員会でありまして、高知県産業振興計画という計画がありますが、市町村で独自に策定しているのは香南市だけであります。

特に、産業、「しごと」についてしっかりと議論するのがこの場になります。

また、香南市では各部会を設けて、各部会の中で議論を行い、事務局にお返しの形をとっています。

香南市の地方創生の中で「しごと」を支える当委員会では私たちは何をやるのかと言いますと、条例にも記載がありますが、「香南市産業振興計画の策定及び変更」「前号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項」について、私たちがしっかりチェックをして、より良くしていくというのが当委員会の趣旨となります。

この後、各関係課より、各分野のご説明・ご報告がありますが、部会長をはじめ、委員の皆様より、ご自身の仕事や香南市で暮らす中で感じることをもとにご発言をいただきたいと思います。

しっかりと議論をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、議事について進めていきたいと思っております。

ここからは、令和3年度の総括及び令和4年度の取り組みについてということで、各担当課よりご説明をお願いいたします。

まず、農業分野よりご説明等をお願いいたします。

(農林水産課 小松課長)

それでは、農業分野についてご説明をいたします。資料1の3ページをお願いします。

農業分野の目標数値は、高知県中央東農業振興センターが毎年公表する前年度の新規就農者数でありまして、令和3年度の目標値は、新規就農者数10名に対し7名ということでB評価となりました。

この数字は、実際は、令和2年度に新規就農となった方の数字でありまして、移住フェア等が新型コロナウイルス感染症の影響に中止になったこと等もあり達成には至りませんでした。

令和3年度の市の相談件数としては26名あり、10件の新規就農者につながっておりますが、この数字は令和4年度の数字として計上される予定です。

続いて、戦略の柱の各事業についてご説明いたします。

「担い手の確保」に関しましては、就農前の研修時点で事業を活用された方の実績は3ページに記載しております。

また、4ページの「担い手支援事業 後継者育成支援区分」という、親元で就農された方は1名でありました。

農業次世代人材投資事業(開始型)につきましても、2名ということでC評価となっております。

農業後継者推進事業は、目標値6名に対し5名ということで評価はBとなっております。

農業後継者推進事業はJAさん等の関係機関から情報を集めまして、相談を重ねてきましたが条件が合わない方や就農時期を見合わせたいという方がおられましたので数値が伸びておりません。

引き続き、関係機関と連携しながら情報収集を行いまして、新規就農者のサポート研修等を振興センター等とサポート、協力していくように努めていきたいと考えております。

続きまして、2つ目の戦略の柱であります経営改善・農地維持に向けた取り組みについてです。

施設整備等の事業につきましては、産地パワーアップ事業、中山間地域等直接支払事業以外は、BとCの評価となっております。

3-1.産地パワーアップ事業はニラの生産者を総合的に支援するものでございまして、香南市では令和4年度の計画策定が困難のため、本事業は令和3年度限りで終了いたしました。

続きまして資料1の7ページになります。

中山間地域等直接支払事業につきまして、判定はAとなっておりますが、これは、集落戦略が未確定だった集落を除きまして話し合いを持ちまして取り組みましたので実績が上がって判定がAになりました。

続きまして8ページになります。3番目の戦略の柱、基盤整備、防災の取り組みになります。

1.耕作条件改善事業でございますが、中ノ村地区の改修工事がほぼ完成致しまして、土居、徳王子地区の集積計画も終了いたしましたのでA判定としております。

その下の重油流出防止付燃料タンク整備事業につきまして、目標数値に対して実績が2つしかございませんでした。

これにつきましては、県と市の補助金以外にも個人負担が発生しますので、なかなか成果が伸び悩んでいるところでございますが、昨年度よりJAの各部会にお邪魔し、その時にこの中身の説明を行って参りました。

今年度も引き続き、説明に伺ってまいります。

次に資料2をご覧ください。部会の報告書の3ページになります。

令和4年度の取り組みに対するご意見といたしまして、経営改善・農地維持に向けた取り組みについてということで、環境制御技術高度化事業や産地パワーアップ事業のニラの洗浄そぐり機の未導入者の情報を他の事業で活用できないかという内容や実践型研修ハウスの使用期間終了後の新規就農者の進路、それからハウスの主要施設の整備についてもございました。

次に資料3の新型コロナウイルス感染症対策に対する取り組みについてになります。

農業だけではないですが、資料の2ページ、3ページに事業継続支援金ということで、令和3年度の実績というところにその実績が掲載されています。

一次産業の実績についても記載をしておりますのでご参照ください。以上になります。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

農業分野のご説明について、石丸部会長から補足説明等がありますでしょうか。

(石丸委員)

先ほど小松課長より詳しくご説明していただきましたので当計画についての説明に関してはございませんが、資料1の6ページにあります、5. 農産物のブランド化の推進 の 農産物のブランド化の推進の部分を1点だけ加えさせていただきます。

現在、山北管内の女性部が、この実績に出ているように、みかんバターやジュース等を販売しておりますが、先だって、女性部の総会の中で、産地としても後継者はかなり育ってきていますが、高齢化もかなり進んできているということで、実績数字が出ていますが、コロナの影響もあることから、かなり販売が厳しくなり落ち込んでいます。

加工品は、高齢化の中、非常に手間がかかり労力もかかる部門でございます。

そういった中、加工以外にも、みかんの収穫と重なって、なかなか参加してくれる方が少なく、加工部門のほうが厳しいと言うことで、今後は山北みらい(株)さんの協力を得まして進めていきたいという報告がございました。

加工部門につきましては、山北みらい(株)さんの方にも一応データやレシピ関係も伝えながら、継続して取り組んでいきたいという報告がありましたのでこの場で共有をさせていただきます。

(赤池委員長)

ありがとうございました。続きまして、林業分野についてお願いいたします。

(農林水産課 小松課長)

林業分野のご説明をいたします。資料1の9ページになります。

まず、数字目標の間伐面積ですが、令和3年度は40haとしておりましたが実績が39.5haでした。

ほぼ達成していますが、評価としてはBになります。

場所としては、香我美町口西川・中西川・別役・奥西川・舞川・撫川で予定どおり保育間伐を実施しています。

次の戦略の柱になります。

まず、森林環境の保全に向けた取り組みですが、意向調査につきましては目標値 45.85ha に対しまして、実績中 26.1ha と C 評価となりました。

令和 4 年度は、地籍調査を実施した夜須町細川地区と地籍調査未実施の夜須町沢谷地区で 120ha を実施する見込みです。

その下の森林管理制度森林境界明確化委託事業につきましては、目標値 40ha に対しまして、実績値が 42.2ha で A 評価ございました。

令和 4 年度も引き続き、計画通り事業が進められるように取り組ませていただきます。

次に、間伐事業でございますが、この事業は令和 3 年度までは、緊急間伐総合支援事業と森林管理制度委託事業の 2 つ分けてしてましたが今年度からそれを合わせまして 1 つの事業としております。

令和 3 年度の緊急間伐総合支援事業につきましては、目標値 35ha に対しまして実績値 39.5ha で A 評価となっております。

続きまして 10 ページの管理制度委託事業は目標値 5ha でしたが実績が 0ha となっています。

先ほど申しましたが、令和 4 年度からは緊急間伐総合支援事業と合わせて間伐事業として事業を進めていくとなっております 50ha の実施を予定してございます。

次の木育事業ですが、目標数値 13 回に対しまして実績値が 12 回となりまして B 評価となっております。

内訳といたしましては、木育イベント 1 回、保幼小中学校の森林体験学習を 8 回、市主催以外の木育林業林業関連イベントの周知を 1 回、香南市の森からの贈り物事業を 1 回、市内保育所幼稚園への香南市材の木製おもちゃの贈呈を 1 回とカウントしております。

保・幼・小・中学校では森林見学につきましては、打ち合わせまでは済んだところもありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった事業もありますので目標数値まで届きませんでした。

令和 4 年度に関してましては、木育イベントにつきましては、引き続き、関係機関と連携しながら、にこなんや市内の公民館でも開催する予定です。

また、保・幼・小・中学校につきましても 4 月の教育委員会の所属長会でも校長先生等のところに周知を図っておりますので、昨年同様、引き続き実施して行きたいと思っております。

次は部会の報告ですが、資料 2 の 6 ページになりますが、木育事業を実施する際に木材利用を推進することの意義 ということと森林整備や水源涵養、CO₂ の削減に繋がる等の内容を子どもたちや保護者の方に説明をいただきたいとご意見をいただいております。

これにつきましては森林学習の際にお時間をいただき説明していきたいと考えてございます。

また、市が実施しております香南市の森からの贈り物事業で乳児におもちゃを贈呈することからも知るきっかけの普及を図っていきます。

木育事業は令和 3 年度より子育て支援センターにこなんでファーストスプーン事業を実施いたしましたが、会場の関係で参加者が少なかったこともありますので、参加者を増やすために会場を公民館や図書館と改善することで参加者を増やして行きたいと考えています。以上です。

(赤池委員長)

ありがとうございました。 林業分野のご説明について補足説明等はありますでしょうか。

(三谷委員)

ご丁寧に説明していただきありがとうございました。自分の方ではコロナの対策についてお話しします。

令和2年度より市有森林の搬出間伐を実施させていただき、おかげで組合の雇用を守ることができました。

令和3年度で事業の完成し、約35ha間伐し山がきれいになりました。

全国的にも珍しいH型集材というものを実施させていただいて、それをビデオに録ってみなさんに見せようと計画をしたのですが残念ながら実施できませんでした。

部会では、木育事業ということに関して色々な意見があり、小学生等に見ていただく等のご意見もいただいたので、例えば、市有林ではないんですが、その近くでオーストリア製のタワーヤーダ、日本にあまり台数がない、先進的な林業機械なんです、それを稼働させて間伐しているのを見ていただき、子ども達に興味を持っていただけるようなことができればなと考えています。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

林業分野の数値目標に関しては令和3年度の途中に上方修正を行い40haとしています。

計画通りに進んでいるということですね。

続きまして、水産業分野をお願い致します。

(農林水産課 小松課長)

それでは次に水産業分野について説明させていただきます。資料を1月の11ページお願いします。

数値目標は沿岸漁業総生産額2億9,000万円に対し、2億5,400万円でB評価となります。

水産業につきましては、天候等の自然条件による影響もございしますが、目標が達成できなかった理由としましてはシラスイワシが4月と夏に豊漁でありましたが、逆に、最盛期の12月から3月にかけて水揚げが極端に少なく、なおかつ、魚の質が良くなかったことから単価が非常に下がりました。

また、シイラにつきましては、記録的な不漁であったことから目標値を下回りました。

次に、戦略の柱、生産性の向上でございますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、事業継続支援金の対応を実施してきました。

令和4年度は、浜の活力再生プランに基づいた所得控除かかる取り組みとして、漁船や新造漁船の円滑な導入を支援します。

次に戦略の柱の流通・販売の強化でございますが、こちらは、高知県漁協手結支所の販売額でございますが、先ほども申しましたが、シイラの記録的な不漁があったことから目標数値をかなり下回りました。

しかし、昨年7月に自動真空包装機を導入したことによりまして冷凍フィレ等の出荷量は増加し、県内飲食店へ納入してする等の動きが進んでいます。

13ページですが、シラスの加工品の販売額につきましては、加工業者件数が少ないため目標値を設定してしまうと売上がわかってしまうという等の意見もあり目標値の設定ができていません。

目標数値の設定はできていませんが、様々な県や市の支援策の活用について検討して行きたいと考えております。

その下の学校給食の納入ですが、かちりじゃこにつきましては令和2年度より試験導入を開始しており令和3年度は73回の納入をしております。

かちりじゃこは様々なメニューに活用されており、大幅に数値を達成できましたことから令和4年より目標値を上方修正しています。

続きまして、担い手の確保でございますが、昨年から引き続き、雇成型漁業支援事業による支援を実施しており、2名の支援を行っております。今後も新たな雇用へと繋げていきたいと考えております。

次に部会の様子ですが、資料2の8ページからとなっております。

水産業部会では、新たな委員として、内水面の事業者と販売する方、バイヤーの関係者も迎えており、色々な方面から水産業について議論をいただきました。

今後はさらに議論が活発になっていくのではないかと考えています。以上です。

(赤池委員長)

ありがとうございました。水産業分野のご説明について補足説明等がありますでしょうか。

(中田委員)

課長のおっしゃられました真空機器の件ですが、導入したことによってお客さんからの色々なご要望にお答えできたということでかなり大きな取り組みとなりました。

今までは一週間に一回くらいの製品化への対応でしたが真空機器の導入によって毎日商品化することができました。

ただし、漁港の課題もあり、施設の老朽化や集約に向けた動きも大きな課題となっております。

また、水産物についても、毎年同じものが獲れるのがここ3年でだんだん変わってきてまして、獲れる魚に応じた市場の受け取り方、また、その販売の仕方っていうのが大きな課題となっておりますので、そこをしっかりと協議していきたいと考えています。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

ここからは、まず、一次産業のところで皆様とともに意見交換をさせていただきたいと思います。

それぞれ皆様のお仕事、ご専門に関わらず、異なる部会のみなさんからのご意見をいただく機会ですので、是非積極的にご発言いただきたいと思います。みなさんの方からご意見いかがでしょうか。

(福井委員)

かちりじゃこが急速に給食で使われているという内容のお話があり嬉しいと思いました。

3年前に当委員会の委員として参加をさせていただいていた時は、給食に使いたいけど、なかなか他の物が混ざっている等の問題があり、給食に使えないというような内容でしたが、給食にも使用されているということで、地元で獲れるものなので子どもたちにもどんどん食べてもらって活性化できたらいいのではないかと思います。嬉しく感じました。

(赤池委員長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか？

私の方から1つよろしいでしょうか。

この産業振興計画の中で、常に分野を超えて議論してきた問題として「担い手」、つまり、「産業の担い手になっていただく方」についてずっとお話をしてきました。

先ほど農業、林業、水産業について、それぞれ担い手に関してご報告をいただきました。

特に農業分野では、新型コロナウイルスの影響で外に紹介する場がなかなかうまくいっていないということでした。実際にみなさんが香南市に住み、また、農業を実際されている方からして、担い手といいますか、職業を変えてくるわけですから、かなり勇気のいる選択が必要だと思うのですが、その担い手になっていただける方の状況について、この場でみなさんに共有できたらと思っています。

コロナの影響もあると思います。これは生産者だけではなくて、新しくこの香南市で農業を選ぶか等、他の環境というのはどのように変わってきてますでしょうか。

(石丸委員)

香南市では、地域おこし協力隊ということで、農業を3年経験され、今、山北地区で自立している方が居ます。市の職員として3年間頑張っておられて独立をされています。

今年についても地域おこし協力隊ということで入ってきており果樹関係は増えています。

県下的には、例えば、土佐市の文旦農家に伺うと、なかなか入りにくいのか入ってこないと伺っていますし、香南市の方はしっかり取り組んでいると感じています。若干ですが何人か育ってきている現状です。

また、香南市の園芸用サポートハウスにつきましても、今6棟ある中で5棟が稼働しています。

このハウスは3年間の利用でありまして、3年後には、新しいハウスや中古のハウスで、新しい場所で生産を行うこととなりますので、若い後継者が育ってきています。

ただし、ここにきて新型コロナウイルス感染症の関係等でハウス資材や資料等が高騰している。

そういった中、農家の後継者になりますと、親御さんがトラクターを持っていてそれを使えると言う部分があります。しかし、今は県外からの担い手の研修生が多いわけです。

そういった研修生については何ひとつ持ってないわけです。トラクターもない、畝立機もない、何もない。そこから始めるわけですから、非常に大変な部分です。

また、一番大事な部分は経験です。僕らの時代は親父に聞いたり、近所の方に聞いたり、天候を見ながらやってきましたけれども、今の方は「僕らにはもう時間がありません」ということでハイテク機械に全部頼っております。

このハイテクの機械というのは非常に高価なもので、四万十町の担い手育成センターで1年ないし3か月研修して、そればかりを頭の中に入れてやりますけれども、やはり、投資が大変です。

そういった中で軌道に乗ればいいですけども、結局経費がかかりすぎて、なかなか軌道に乗れないと言う部分も現実あるので非常に大変だと思います。

そういった中、香美地区の指導員がしっかりと指導し、育成していかなければならないと考えています。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

その場合、新規で就農する場合で融資を受けていく場合、融資はうけられるものでしょうか。当然資本もないし、まあ土地もないわけですね。お教えいただけますと幸いです。

(葛根委員)

石丸委員の説明は解りやすくそれが現状だと思えます。

本格的に農業の方へ乗り出して行くということで、先ほど説明もありましたが、資料1の5ページにあります上段の園芸用ハウス整備事業というところで実績は11件と言うことでB評価でありました。

このことについて、昭和の時代はほとんどこういう事業を使うことはなく、直接、融資制度を活用していく方が多かったわけです。また、自己資金という方が多かったわけですが、そういった時代から、県あるいは市の事業を活用していく形にシフトしてきたという経過がございます。

このことから、先ほどの事業ということで基準値が13で11件と言うことになります。

農業の一番の入り口等で、指導者といいますか、お世話係が居て、そして独り立ちということでこの事業等へ結びつけていくということになるわけですが、資金というのは、農協の信用事業とリンクをさせて、審査をしております。

このような中で、制度等の紹介を十分に農家の方にして進めています。

全てOKということではないですが、色々な資金面のエンジンと言いますか資金制度の周知をさせていただきながら進めています。

(赤池委員長)

ありがとうございます。

農業分野について銀行からと言うのは難しいかもしれませんがお話できる範囲で構いません。

農業を応援するような仕組みがあるのかどうかをお願いします。

(水田委員)

同じ金融機関のくくりではありますが、実績という部分、データは本日持ち合わせてはいません。

ただし、取り扱ってる制度はありますので是非ご相談を頂けたらと思います。

ケースバイケースではありますが、最初から無理ですという話にはなりません。是非ご相談をいただきたいと思えます。次につながるご回答をさせて頂けると思っております。

(赤池委員長)

農業を実際にされていて、新しく入ってこられた方、また、その後、定着される方もいらっしゃいますし、そうじゃない方もいらっしゃると思えますが、そういった方がどういったことがボトルネックになっていますでしょうか。

定着に向けて入ってくる方に向けて、香南市の場合、どのような部分が少しハードル、高い部分になっているか等について教えて頂ければと思います。

(松村委員)

まず、使われてないハウスがなかなか活用されていないということで、持主さん等にも交渉に伺ったりするのですが、なかなか「他人には貸さない」というような感じで話がまとまらない残念なケースがありました。

また、以前の会でもお話致しましたが、新規就農で来られた方で、ちょっと年齢が上なんですけど、土地を探していて、使われてない土地を引き合わせた経緯もあります。

その方は、観光でこれからやって行きたいということで、ブルーベリーで観光をという形で先は見ているみたいで、今は頑張って野菜を作って、自分でハウスといいますか、曜日を決めて、出荷する等の手法を行っています。

農業は、大きな経営から小さな経営まで色々あると思うので、私は農業委員として、耕作農地を無駄なく使用してほしい、資産として使ってもらいたいという思いがあるので、「大きくしたいではなく、繋げていきたい」という思いを持っています。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

林業についてですが、コロナ禍でということでお話ありましたが、雇用は守られたということ、つまり、仕事量は維持できたということによろしかったでしょうか。

(三谷委員)

そのとおりということになります。その後、新聞等にも出ていますが、ウッドショックと言いますか、新型コロナウイルス感染症の影響等により流通が止まってしまったので色々なものが高騰しています。

林業の木材も同じことで、コンテナ船等、色々なものがなくなって、外国からも入ってこないことによって、現状は木材が高騰しています。

加えて、戦争関係によってロシア産材が全く入ってこない状況です。コロナ禍で少し下がりかけていたのがちょっとどうなのかなってような状態で、現在、林業としては、木材価格が上がっていて良い状態になっています。後継者についてですが、高知県の場合は林業大学校というものがあまして、そこからだいたい年間 20 人ぐらいの卒業生がいます。

しかし、募集時は、県下でだいたい 80 人ぐらいであり、その 20 人をリクルートしているわけで、それでは全く足りない状態です。ただし、緑の雇用等、様々な方法もあるので、ある程度回っていつてはいます。

しかし、高齢化というのはなかなか厳しいです。現在、香美森林組合でいくと平均年齢が 47 歳です。

80 歳前後の方も働いてくれていますし、それで 47 歳なので、数字を取っていくと、うちは定年がないんですが、70 歳ぐらいで辞めて行くと言うことを考えると、大体、年に 3 人ずつと補充し続けていかないと今の状態を維持できないというような状況になっております。

香南市で個人事業主としてやられている方は一組いらっしゃったと思いますが、高齢という現状もあると伺っております。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

最後、水産業についてお尋ねしたいのですが、1 つは担い手の部分で、今年も 1 名入られたというところ。

もう 1 つは部会のメンバーの構成で内水面の方、また、流通販売の方に入っていたというふうに向っております。

部会の活性化と言いますか、水産業分野については目標数値を「漁獲量」から「漁獲額」に変える等、これまでの計画の中でかなり方向性を変えながら進めているところですが、その部会の委員に、新たに内水面と流通の方をどういうふうにお声掛けしたのかお聞かせいただきたいと思います。

(中田委員)

まず、新たな委員のことについて、販売業者というのはまずお客様と接するところではありますが、生産者からは一

番遠い声をすぐに聴ける部分の方になります。

お店でお客様、消費者がどういう思いで商品を手にするか、そういった部分を具体的に聞けて、見えてというところで、リアルな部分を知れることで、日々、漁師さんが漁獲物を獲るときに、「こうやって獲ったらお客様が喜んでくれるか」という、そういう点と点を線に繋げてみたいところからお声がけをさせていただきました。

販売業者さんの方も、沖でどのように魚を獲っているのかですとか、朝何時に、どのように、という部分を全く分からなかったと言うことで、反対に販売業者の方も参画出来てすごい良かったと伺っています。

お客様に「これはこうやって獲っていて」といったようなことをお客様に説明でき、すごく言葉の鮮度が良い形でお伝えできているという話を伺っています。

また、このことで、お客様に、「今日は手結産の魚がないね。」等と、お客様の方から声があるという内容も伺っています。

内水面の方に関しましては、普段全く関連がないという部分もありましたが、やはり同じ水産関係ということで、違った視点からもご意見頂けたらなということでご参画いただいたところでございます。

担い手についてですが、高知県は非常に弧の字型になっていまして、香南市は地理的に非常に不利な場所となっています。

室戸市や土佐清水の両岬というのは漁場がすぐ目の前ですので、釣りだけでも生計を立てられますが、香南市等の中心部というのは本当にどこまで行くにも一番遠いので経費がかかります。

なので、生計は立てにくい。

そのかわり、シラス漁では、これは雇用型にはなるんですが、非常に若い方もたくさんやられています。

なので、やっぱり一本釣りとか巻き網等の特殊な漁法による新規は難しいと思います。

(赤池委員長)

地理的に難しいということですね。わかりました。その他、みなさんからいかがでしょうか。

この委員会のいいところはみなさんにご発言をいただくところだと思っています。

(梶原委員)

農業についてですが、弊社は数年にわたり、香南市内で約 1ha のぶどう畑を開発してきました。

担い手育成事業というのが非常に重要だと思うのですが、やはり先を見据えたもっと支援が必要じゃないかと思っています。

弊社は 6 次化を目指し、自分たちで農業を行い、加工して、販売までと一貫して取り組んでいます。担い手、新しく入られた方は、なかなか販売の部分やどうやって作ったものを売っていかうというところに悩むと思います。これは農協さんの系統出荷を含めて発信して行くとか、観光とか、商業の方でも少し横串を刺して、担い手の販売の促進ができれば定着していくのではないかと思います。

我々も香南市でぶどうをつくって、どうやって販売していかうというふうに、魅力のある商品にして、県外にアピールしていかうということで、いちばん頭を使って苦勞していますので、その部分をもう少し全体の部会でサポートしていければ定着していくんじゃないかなと思いました。

(赤池委員長)

ありがとうございました。先ほど、山北みかんの加工分野のお話もありました。

その点につきましては、担当課、担当部会で引き続きご議論をいただきたいと思います。

それでは、次に商工業分野に移りたいと思います。

まず、商業分野について、商工観光課よりご説明をお願いいたします。

(商工観光課 浜田課長)

当課は香南市産業振興計画の事務局もさせていただいております。よろしくお願いいたします。

主に、資料 1.3.4 等を適宜使用しながらの説明となります。

それでは、商業分野の説明をさせていただきます。資料 1 の 14 ページをご覧ください。

第 2 期の商業分野の数値目標としましては、商業者数と新規事務系企業数の 2 つを設定しております。

その目標を達成するために、戦略の柱を設定しており、戦略の柱に紐づく事業がありますが、全て説明いたしますとお時間をよろしくすることから、ピックアップしてご説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

まず、商業者数につきましては、実態等を踏まえた結果、昨年度見直しを行っており、既存事業者の持続的発展や空き店舗等を活用した創業等によって、今後も見込まれる商業者数の減少を少しでも緩和していくことを目指す設定となっております。

令和 3 年度の実績としましては、目標値である商業者数 773 者に対し、実績値が 777 者となり、単年度でみると達成評価は A となっておりますが、あくまで、令和 6 年度末における商業者数が 758 者以上となることを目標として、今後も取り組んでまいります。

また、新規事務系企業数に関しましては、目標値 2 件に対しまして 0 件となっており、C 評価となっております。こちらにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏企業に対するアプローチの機会が減少したことに加え、特に首都圏ではテレワーク等の導入が加速したことにより、雇用の在り方や働き方に対しても大きな転換期を迎えたことが影響していると考えております。

次に商業分野の数値目標に繋がる各取り組みについてご報告させていただきます。

まず、戦略の柱である「空き店舗活用に向けた取り組み」の 1. 商店街等振興計画の策定につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済対策事業の実施等により、当初のスケジュールから大幅に遅れている状況です。本年 11 月頃の計画策定に向けて、まずは 7 月 1 日に中心市街地活性化協議会を開催する予定で取り組みを進めています。

5 ページをお願いします。新規事務系企業の誘致については、先程も述べましたとおり、実績値は 0 となっておりますが、オンラインによる取り組みを継続して行ってきた結果、12 月に、コロナ禍においては初めて、地方進出へ興味を持つ企業 3 社による現地視察を行うことができました。

戦略の柱である担い手確保に向けた取り組みの 1. 事業承継の推進については、昨年 11 月末時点での実績が 2 件、業種は建設業となり、目標値を超える状態となったことから、昨年度、令和 4 年度以降の目標値の上方修正を行っております。

16 ページをお願いします。2-1 未来人材育成奨学金返還助成事業につきましては、日本学生支援機構の HP への掲載依頼や企業訪問時の案内等、今までの取り組みの成果が、当事業の問い合わせの増加に繋がり、昨年度は 5 件の新規認定件数がありました。

17 ページをお願いします。戦略の柱 商業支援では、まず、1. 中小企業者等保証料補給金事業については、昨年度までは緊急融資保証料補給金事業としておりましたが、今年度より対象融資の拡充を行っており、今後の

新規利用に関しては、こちらの制度を活用いただくこととなりますので、名称変更を行うとともに、これまでよりも利用件数が増加することを見込み、昨年度に令和4年度以降の目標値を上方修正しております。

続きまして、新型コロナウイルス感染症に係る支援策について、ご報告いたします。

資料3の「新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて」をご覧ください。1ページをお願いいたします。左側の香南市中小企業者応援補助金では、感染症の拡大防止に向けた取り組みに要する経費や、アフターコロナに向けた売上回復や事業継続に繋がる取り組み(空気清浄機、エアコン改修、トイレ、水回りの設備改修、Wi-Fi環境整備等)に要する経費に対して補助を行いました。

続きまして、2ページ、3ページにあります「香南市事業継続支援金」につきましては、営業時間短縮要請等が行われたことに伴い、事業活動に影響を受けており、高知県営業時間短縮要請対応臨時給付金の給付を受けた事業者の方に対して、市独自の支援金を給付したもので、給付件数は延べ600件、約8,650万円と、多くの事業者の皆様にご活用いただきました。

7ページからは、令和4年度の取り組みとなっております。

商業関係では、右側の「商工業者相談窓口事業」ですが、こちらは商工会と連携して進めている事業になり、コロナ関連の各種支援金等の申請書類の作成がなかなか難しい部分もあるということで、行政書士の先生等、専門家への相談が可能な窓口を商工会に設置していただくものとなっております。

続いて、「営業時間短縮要請協力金(第2期)」につきましては、令和4年2月12日～3月6日までの時短要請に応じて営業時間の短縮又は休業の対応をしてくださった事業者の方に対して、県の協力金に上乘せという形で、1日あたり1万円の協力金を支給するもので、現在申請受付を行っております。5月13日時点での申請件数は64件、給付額は約1,500万円となっております申請期間は7月29日までとなっております。

最後に、令和4年度の取り組みについてご説明いたします。

資料4の18ページの商業分野をご覧ください。

「空き店舗活用に向けた取り組み」の中で、拡充で示しております、「空き店舗等対策事業」につきましては、補助率を10分の2から4分の1へ、補助上限額を40万円から50万円へ、拡充を行っております。また、本年度より、高知県が、「中山間地域等新規創業支援事業費補助金」を新たに創設したことから、商業集積地以外の地域で空き店舗を改修して新たに新店を出す場合、県の要件を満たしていれば、補助率は1/2まで、補助上限額は100万円にまで引き上げられることとなっております。続いて、「担い手確保に向けた取り組み」の中で、「〇新」としてあります「香南市企業魅力発信動画制作支援補助金」につきましては、販路開拓や人材確保に向けた取り組みに対する支援策として、今年度、新たに創設した補助金であり、香南市内に事業所等を有している中小企業者に対して、自社製品や取扱商品等の魅力等をPRする動画の制作経費の一部を補助するものとなっております。詳細の事業内容については、22、23ページにそれぞれ記載しています。

なお、商業部会では、意見として、固定費である家賃に関する対策も何か考えていくことが必要なのではないかと。創業者に対する支援のみではなく、廃業するところに対する支援も必要。

事業承継については、次の世代の方、新しい仕事を探しているというような方にも、積極的にアプローチをしていくべき。各機関が広く情報共有を行うことで、マッチングに繋がるケースもあると考えられることから、今後も積極的に連携をしていく必要がある。

コロナ対策として実施されている「香南いこいこキャンペーン」について、今後も実施するのであれば、クーポン券の配布なり、香南市の事業所にお金が回るような仕組みにしてもらいたい。といった意見があげられました。

以上で商業分野の説明を終わります。

(赤池委員長)

ありがとうございました。補足説明等があればお願いいたします。

(福井委員)

空き店舗についてはなかなか決まっていなかったのでこれからというところです。

事業承継については、支援センターの方が新たに委員となりました。その中で、今、元気で仕事を続けている方であっても早めに相談してもらえたら、マッチングもしやすくなることから相談をして欲しいという内容の話がありました。

また、実際に後継者となる方々が相談する場所というのがないというご意見もいただきました。

今事業をしてる人で65歳位の方であれば、まだまだ若くて、事業承継を考えていないケースも多いということで、相談できるのは、今事業、事業をしている人であって、引き継ぐ者が相談できる場が無いとの話が出ていました。次に香南カーニバルについてですが、令和4年度は未だ計画されていません。

商工会の方でもまだそういう話がないので、計画されてはいいませんが、もしやるとしたら、昨年度実施した商品券による事業形態だと、結局、自分がいつも使用しているお店で使うことが多く、新しいお店になかなか行くことがないということで、カーニバル事業当初以前のように、一週間の間にこのいろんなお店を回って使いたいというような、チケット制で行うべきではないかというご意見がありました。

コロナ禍でありますので、商品券のような形が良い場合もあるかもしれませんが、ちょっとワクワクしながら周れるような形があったら良いという意見がありました。

加えて、スタンプラリーみたいな形で、お客さんも誘導できるような仕組みも検討してはどうかのご意見がありました。

最後に、観光分野とも関係がありますが、いこいこキャンペーンが今年も行われておりますが、ホテル等は1,000円分のキャッシュバックがあるそうですが、そのキャッシュバックをクーポンみたいな形にして、香南市のみで使えるものにすることでそのお金が生きてくのではないかという意見がありました。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

続きまして工業分野につきましてご説明をお願い致します。

(商工観光課 浜田課長)

工業分野の説明をさせていただきます。資料1の19ページをご覧ください。

第2期の工業分野は製造品出荷額と新規雇用者数を数値目標としており、令和3年度の目標値、製造品出荷額は380億円としておりますが、令和2年実績の工業統計調査結果がまだ公表されていないことから、達成評価は示しておりません。

もう1つの数値目標である新規雇用者数につきましては、目標値8人に対し、令和3年度末の実績値が23人となったことから、達成評価はAとなりました。

次に工業分野の数値目標に繋がる各取り組みについて、ご報告させていただきます。

戦略の柱となる企業誘致の促進、ものづくりの基盤整備における具体的な取り組みの1. 新規工業団地整備事業でございますが、最終候補地として選定された香我美町下分地区について、地権者や地元の関係機関等に

対して説明会を開催し、当該箇所の農地区分や法規制の確認を行ったうえで、当課の方で造成基本設計を行いました。

令和4年3月に造成基本設計は完了し、令和4年度はこの成果を元に、共同開発を予定している高知県と役割分担を協議し、協定の締結に向けて事業を進めていく計画でしたが、現在市長によるゼロベースでの事業検討の対象となっており、先だって、新聞報道もございましたが、宅地造成事業と一体的ということで、当工業団地事業につきましては一旦中止が示された事業となっております。

また、2. 香南市企業立地促進事業につきましては、新たに工場用地を取得した立地企業2社より企業指定申請の提出がありました。

令和4年度は申請企業の円滑な操業開始と地元雇用の促進に繋がるよう、企業説明会や面接会を開催し、支援を行っていきたいと考えております。

次に、20ページになりますが、もう一つの戦略の柱である「既存企業の育成・支援」につきましては、企業訪問を行い、新型コロナ関連の施策も含めて各種事業の紹介を行いました。

1. 商談会開催事業につきましては、商談会の開催を12回予定しておりましたが、新型コロナの影響により、開催が2回に減ったことから商談件数が19件となり、昨年度の実績を上回る事が出来ませんでした。

令和4年度はWeb商談を併用して商談機会の増加を図り、受注及び販路の拡大を目指します。

一方で、前年度まで利用のなかった「4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業」につきましては、5件の申請があり、対象者の範囲を広げたことや事業周知を強化したことで目標値の達成に繋がりました。

今後も企業訪問等により、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用や経営状況の把握に努めるとともに、各種支援事業の紹介を行うことで既存企業の育成・支援に取り組んでまいります。

次に令和4年度の取り組みについてご説明いたします。

資料4の19ページをご覧ください。令和4年度の工業分野と取り組みといたしましては、昨年度からの取り組みを継続して行っていくとともに、青色で示しております「香南市先端設備導入支援事業費補助金」を拡充することといたしました。

拡充内容といたしましては、前年同月比の売上が10%以上減少している事を要件としておりましたが、同要件を撤廃し、アフターコロナに向けて設備投資を行い、更なる生産性向上を目指す市内中小企業者を支援してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度、実施出来なかったものづくり教育推進事業につきましては、夏休みに市内小学生を対象とした工場見学ツアーを予定しており、子どもの頃から地元の企業に興味を持っていただき、将来も本市で定住してもらえる様な取り組みを行っていきたいと考えております。

なお、工業部会での主な意見といたしましては、次の2点があげられました。

香南市技能功労者表彰制度については、市内の学校における表彰者(機型工業さんの技術の高い)の講話等について、教育機関とも連携した取り組みを進めること。

香南市商工業者相談窓口事業については、市と商工会が連携して行う事業としては県下でも例がなく、市内事業所に大きく寄与する取り組みであり、引き続き商工会等の関係機関と連携し、市内事業所のコロナ対策も含めた支援を行うこと。

これらの意見を各施策に反映し、令和4年度の工業分野の取り組みは、ものづくりの基盤整備強化と中小企業の技術向上・経営革新の支援により、数値目標の達成を目指します。以上で工業分野の説明を終わります。

(赤池委員長)

ありがとうございました。補足説明についてお願いいたします。

(黒原委員)

工業部会では今期から新たに2社の方に委員になっていただき、その2社からも新鮮な意見をいただきたいなと思っております。

また、その意見が香南市の施策に反映されればと考えています。

その中でものづくり教育推進事業ですが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったのですが今年度は時期を見ながらできないかという話がなされました。

また、そこから発展し、観光分野のいこいこキャンペーンについて、コロナだからこそ修学旅行とか中止になってる学校がある等の意見がありましたので、その観光に来てもらうように、学校関係にもピンポイントで推進をしてみてもどうかという部会の垣根は超えてしまうのですがご意見やご提案がございました。

(赤池委員長)

ありがとうございました。ここで、商工業分野について意見交換を行いたいと思います。

先ほど、黒原委員から、分野を超えてしまいますが、というお話がありましたが、是非、こういった分野を超えて議論をしていただきたいと思います。

まず、商業についてですが、最初の商業者数については評価ということで、実績値は昨年度からほぼ変わらないというか、1社減ということなんですけれども、商業者数等の状況につきまして、またみなさんに情報共有させていただきたいと思います。

吉川委員の方から現状について、特にコロナという大きな状況の中で今の香南市の状況についてご説明いただければと思います。

(吉川委員)

現在、コロナの影響で、飲食店を中心に非常に大変な状況でございます。

国、県等からの様々な助成金、支援機等がありまして、今のところは持ち堪えているところでございます。

これがなくなり正常化した時にどうなるだろうかとかというのが非常に心配しているところです。

商業に関しましては持続化補助金というのがございます。

この補助金は販路の開拓の補助金でございまして、この補助金を活用しながら持続化のための対策をしている事業者もございます。

現在はウイズコロナということで、コロナと一緒にどうしようかというところでございまして、その補助金が今、大きいところでございます。

製造業におきましては、事業再構築補助金という補助金がありまして、最高限度が3分2の補助で6,000万円までとなっています。これはなかなかハードルが厳しいものでございますが、今の事業から別の領域へ行っただけに、それに対して国が補助金を出しようというものでございます。

私は今年度より香南市に着任をしたことから、全てを把握できていませんが、昨年度まで居ました中芸では、数社ですが採択された事業所がございました。事業所に対して6,000万円の補助金はなかなか無いです。

それが今、国の方はウイズコロナということでやろうというところでございますので、その辺の手は香南市の事業者

も打っているのではないだろうかと思います。

また、市の方では新規事業にもありますが、動画作ってHPでアップして、魅力発信をしようという補助金が今動いています。

商工会にも2件ほど相談がありまして、そろそろ申請しようと言う話をしています。

この事業は、アフターコロナになるかもわかりませんがそういう形で動いているところでございます。

(赤池委員長)

コロナ禍で、事業者数、事業所数として、カウントし始めて、それが減っていないというふうに、なんとかもち耐えているという表現でしたが、香南市の商業、これは商業に限らずということだと思いますけれども、事業承継も含めての状況について、共有できる範囲で構いませんので情報をいただければと思います。

(水田委員)

前回は少しお話をさせていただいたと思いますが、一昨年にコロナが出始めた時に、国の制度や県の制度で、利子補給のある制度ができて、香南市の事業所の方にも利用していただいております。

元金の据え置きのももあるのですが、据え置き期間はずっとではなく、3年、4年後からは返済が始まるということで、来年、再来年から始まってきます。それまでに事業者等が立ち直っていればいいのですが、まだ見通しが立たない事業者さんも多くありますので、ここに対してどう金融機関としてご支援できるかと言うのが弊行としても課題となっていますので、そこは事業者の方としっかり向き合って、今後の事業計画の作成や新しい販売先のご紹介等のご支援をさせていただきながら、事業者数が減らないように金融機関としても準備を進めているところでございます。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

香南市の商業の状況の共有をさせていただいたところですが、では、市外、県外という部分でどう見えるのかという部分について明石委員よりお話をいただきたいと思います。

(明石委員)

新規事務系企業の誘致というところですが、言葉も選ばずに言いますと、他の自治体の方からもお話も伺いますと、ウリは「補助金がいくら」とか「人件費が安いですよ」とか、あるいは「離職率が低いんですよ」みたいなことをウリにして、東京から企業誘致を得ようみたいな流れが非常にあると感じています。

理想としてはそうではなく、「来たければ来ていいよ」じゃないですが、そのような形の戦略にどう転換するのがすごく肝だと感じています。

一時期、IT企業がバックオフィスのな、ある程度提携業務をニアショアと言いますか、地方に移転するとかあるいは昔だとコールセンターですが、インバウンド・アウトバウンドのコールセンターを誘致するというのがあったと思いますが、最近だと、法人営業を行っているソフトウェアの会社があり、非常に利益率が高い、ソース企業と言いますが、そういった企業のバックオフィスで、これまでのようにどんどん営業をかけるのではなく、ネットから来た問い合わせをどう育成し、そこにどう顧客になってもらうかということを結構内製化しています。

外回りの営業マンじゃなくて、資料をダウンロードして、情報を取得して、そこに対して営業をかけて、成約までか

けるような新しい流れが来ています。

新しいサービスで、その地方にもオンラインで移譲できるような業務っていうのは結構生まれてきているので、そういったところに何か絞って、「うちの地域ではこういう業種の会社さんが集まっていて、そういった会社さん同士でのネットワーキングとか事例シェア等もしてる。」とか、そういうふうな形に移っていくほうが良いと感じています。補助金がいくらとかハローワークでこれぐらい採用できて、人件費は安いですよというところからどう転換して行くのかみたいな話ができるかと素晴らしいと思います。

(福井委員)

都会から来てもらうっていう中で都会の方に是非香南市に住んでいただきたいと考えます。

私の家はここから5分ぐらいのところにあります、今は家の周りで虫も飛んでいますし、空港も近いので、東京まで1時間ほどあったらすぐ行けます。

海もあり山もあり、すごい香南市は素晴らしい環境だなと思って暮らしています。

是非、企業誘致も併せて住んでいただけるスキームも考えていくべきだと感じています。

(赤池委員長)

ありがとうございます。先ほど吉川委員からもありましたが、PRも含めてもう少し発信をして補助金とか人件費っていうのは当然、あの競争比較有利なものがあるとは思いますが、逆に言うと比較される部分だと思いますけど、やっぱり香南市のウリみたいなのところをもう少しPRしても良いのかなと感じました。

今回、國常委員に新しく入っていただいて、ご自身で事業もされてるということなんですけども、ちょっとお尋ねしたいのは、当計画にあるような補助金や事業の情報について知っていましたか。

私も会社作ろうとかと考えていまして、そういったときに、こういう情報って住民のみなさんはどうやって入手しているのかと言う部分があります。

正直わからなかったんですが、ご経験等をお教えいただければと思います。

(國常委員)

私もあまり知らなくて、去年から自宅サロンで色々やっついこうと思い、去年から動き出したんですが、はじめは市役所のHPを見たりとかして、なんとなく「こんなものがあるんだな」というのは知ってはいたのですが、それがなかったら、おそらく全く知らなかったと思います。

話は変わってしまうんですが、空き店舗の活用のところ、去年事業を始めようと思った時、チャレンジショップみたいのがあったらいいなと思って調べたんですが、香南市は見当たりませんでした。

香美市や高知市や四万十市の方にはあったのですが、香南市はありませんでした。

何かこうやりたいと思っている方は、チャレンジショップがあったらすぐ始めやすいので、やってみて、トライアンドエラーといいますか、色々そこで経験を積んで、じゃあこうしていこうっていうのがどんどんわかると思うので、チャレンジショップがあったらすごくいいなと私は去年思いました。

それともう一点。私は、自宅サロン以外に、産後のお母さん等、色々な方向けに体操教室をしているのですが、その実施場所問題がありまして、レッスン料もらって教室をやる場合は「営利目的」となってしまうので、なかなか公民館やふれあいセンター等が借りられないのが現状です。じゃあどこでやろうっていうことで結構困っています。

ピラティスとかヨガのインストラクターの方に知り合いが居るんですが、みなさんも同じように場所問題で、どこでや

ろうか、どうしようかと思っている方が結構いらっしゃるのが現状です。

レンタルスペースのような空き店舗をレンタルスペースにして、手軽に営利目的でも借りられるとか、そういう施設があったらすごく活動しやすいと日々思っています。

(赤池委員長)

ありがとうございました。香南市にはチャレンジショップはないということでよろしかったでしょうか。

(商工観光課 浜田課長)

チャレンジショップ制度はないです。

(赤池委員長)

空き店舗を活用する場合の制度はあるってということでよろしかったでしょうか。

短期間の使用料、使用権のような話ではなく、空き店舗バンク事業としてはあるということでしたでしょうか。

(商工観光課 浜田課長)

空き店舗バンク事業の制度は出来上がっていません。現在、空き店舗の調査をしている段階でありまして、調査の成果等を取りまとめて、今後そのデータをどういった形で情報提供していこうかというところです。

(赤池委員長)

わかりました。

次に工業分野につきまして、担い手という言葉が適切かどうかという部分もございますが、雇用の部分が大きくあったというご報告をいただいているところです。ラインを増やしたと言うことをお聞きしましたけれども現状について共有頂ければと思います。

(黒原委員)

コロナ禍の需要というのもありまして、弊社で言いますと従業員かなり増えてます。

分野といいますか、特異な会社とそうでない会社で差は大きいと思います。

雇用についてですが、部会でも話にあがっていたものとして、高校生の就職というのもやはり視野に入れて動いてはいるのですが、工業高校を訪問した時に、県外に行っていた学生が少しずつ現在高知県に残っている、増えてきてるっていうのを伺いました。

高校を卒業すると県外事業者は衣・食・住を確保した段階で迎える傾向があるそうなんです、それが、例えば、高校を卒業して就職する方に対しては住宅補助を、企業側でそういう制度を設けて、3年間、月3万円出すとか、そういう制度が生まれ始めたので、県内を就職範囲として決めているという意見も出ておりました。

このような取り組みといいますか、企業努力も必要だと思いますし、行政からのバックアップもあつたらなお強みになっていくのではないかとこのように感じています。

(赤池委員長)

ありがとうございます。

企業努力の部分で、人を集めるためには、住環境を整備するということで、そこまでしないと、なかなか難しいということでした。

もう1点、奨学金の事業についてですが、香南市独自の奨学金があって、その奨学金を借りている学生の活用が可能ということでしょうか。日本育英会等の奨学金については対象外ということでしょうか。

うちの大学の学生も利用されている方がいる中で、この制度があるだけで、香南市に就職するのではないかなと思います。

奨学金の返済が毎月1万円を上限に8年間助成いただけるということですので、金額にもよるとのことだと思いますが、非常に良い制度であると思って聞いていました。

工業分野に限らず、商業等もそうですし、農業等の一次産業でも対象ということでしょうか。

(商工観光課 浜田課長)

まず、香南市の奨学金というものはなく、先ほど言われたような奨学金を対象としています。

当事業は、人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成するものとなっています。

助成額は返還奨学金の1/2、又は、就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額を最長8年間助成するものでして、H28年度から本事業を開始いたしましたが、残念ながら利用がないことからR2年度より要綱を改正し、新卒者のみでなく、中途採用、40歳未満の方も対象といたしました。

企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図った結果、令和3年度に初めて5件の実績につながったということになります。

なお、現在、1次産業者におかれましては対象ではないものとなっています。

(赤池委員長)

ありがとうございます。雇い入れる側が情報の提供を行うべき部分になるかもしれません。

給料に最大1万円が加わるということだと思いますし、その辺のところは事業主のみなさん、また、採用担当の方とかに情報提供いただけると良いと思います。

特にうちの学生もたくさん借りられていますので、先ほどのお話で、香南市を選ぶ理由の話がありましたが、選ぶ理由としては少し消極的な理由かもしれませんが学生にとっては、大きな選択肢になるかなと思いましたので、是非採用活動の時にもお願いいたします。

また、採用側からもかなりPRをしていただいている可能性があります。問題は利用する方、学生等にどこまで浸透するかということだと思います。そこが一番ネックかなとも感じました。

このほか、工業関係等はいかがでしょうか。

それでは、次に、観光、サイクリング、住宅分野について進めて参ります。

観光分野課のご説明お願いいたします。

(商工観光課 浜田課長)

次に観光分野のご説明をさせていただきます。資料1の22ページをご覧ください。

観光分野では市内観光施設10施設の入込客数110万人という目標を掲げ、これに寄与する事業に取り組んで

まいりました。昨年の実績値は 96.2 万人、達成率 87.4%、前年度比 106%となり、達成評価は B となりました。目標値に達しなかった要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が主な原因でございます。緊急事態宣言発令による移動自粛や、インバウンド需要の激減、11 月末から年末年始にかけての高知県内での感染拡大、また、イベントの中止や規模縮小等により目標値に達することが出来ませんでした。

次に各事業についてご説明いたします。

戦略の柱となる香南市観光の発信、1. 香南市の PR 活動の強化では、日曜市への参加と高知新港での PR の実施回数を指標としています。

実績値は、令和 3 年度は目標値 25 回に対して実績値 18 回となり、評価は B となっております。

要因といたしましては、コロナの影響により、大型客船の寄港が中止になり、11 月末までにあった 4 回の寄港に、物部川 DMO 協議会・香南市観光協会が出店を行い香南市の物産を PR しましたが、目標を達成することが出来ませんでした。日曜市は 14 回参加することができ、事業者と香南市や遊ぼう割 Vol.2+泊まろう割♪キャンペーンの PR を行いました。

資料の 23 ページをご覧ください。戦略の柱となる観光の育成に向けた取り組み、1-1.ヤ・シィパークを核とした地域活性化の促進プロジェクトにつきましては、道の駅やすの入込客数を指標としております。

目標値 292,000 人に対して実績値 256,235 人となり、評価は B となっております。

要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響で各施設とも前年度よりも入込客数が減少しており、数値目標が達成できませんでした。

令和 4 年度につきましては、今年 3 月に完成した駐車場とレンタサイクル施設を活用し、ヤ・シィパークを中心としたレンタサイクルによる周遊観光の促進を行います。

また、ユニバーサルビーチは、物部川 DMO 協議会や YASU 海の駅クラブと協力し、障害者学級への PR を行い、修学旅行や遠足等への誘致につなげていきます。

次に、資料の 24 ページをご覧ください。三宝山エリア活性化推進プロジェクト、「地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業」では、井上ワイナリー株式会社により昨年 8 月に醸造を開始しています。

その後、駐車場やワイン貯蔵庫の整備も行い、令和 4 年 4 月 29 日グランドオープンとなっております。

今後他産業分野との連携を含めた事業展開が期待されています。

次に資料 28 ページをご覧ください。受け入れ態勢の強化、2. 外国人観光客受入研修の実施については、研修の参加事業者数を指標としており、目標値 10 事業者に対して実績値は 15 事業者となり、評価は A となっております。

高知県観光振興部おもてなし課のアドバイザー派遣事業に申請し、「今、行くべき外国人観光客受入れ準備」「インバウンド向け効果的な SNS」等の研修を実施しました。

今後のインバウンド需要の回復に向けて、受入態勢を整備することが必要です。

受講した事業者からも好評なことから、4 年度も引き続き、外国人受入研修を実施し、インバウンド需要の回復に向けて体制の整備を行っていきます。

次に、令和 4 年度新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについての取り組みについて説明いたします。

資料 3 の 8 ページをご覧ください。香南市内の観光施設の入館料や宿泊施設の宿泊費、1,000 円を上限に半額助成をする「香南市で遊ぼう割 Vol.2+泊まろう割♪キャンペーン事業」を名称変更した「香南いこいこキャンペーン」を令和 4 年 4 月 29 日から 12 月 31 日まで実施し、市内の観光需要の回復を目指します。

以上で観光部会の報告を終わります。

(赤池委員長)

ありがとうございました。補足説明等がありましたらお願いいたします。

(梶原委員)

今年から部会に入らせていただいて色々数字も見させていただいております。

全世界的なコロナ禍で、なかなか人の動きが抑制された中で、目標値掲げる時には、前年度同じという目標がない中で、目標を掲げて80%、昨年比102%の入込客数ということで非常に健闘している数字だと思っております。その中で、今後コロナも普通のインフルエンザのようになっていくであろうという希望的な観測を踏まえて、観光協会の中でも観光部会と商業部会に分かれまして、今後の観光の在り方ですとか香南市がどういう風な観光の見せ方、データ、地域へ好発進をして行くのかという情報の取りまとめ、また、勉強をする機会を設けるですとか、商業部会の方では「香南市観光の商品作り」というのは積極的にやっつけていこうということで、各事業者間連携をして、あの勉強会をしながら進めていくような取り組みを行っております。

(赤池委員長)

ありがとうございました。続きまして、サイクリングについてお願いいたします。

(商工観光課 浜田課長)

サイクリング専門委員会の説明をさせていただきます。資料1の29ページをご覧ください。

サイクリング専門委員会は前回の策定委員会でもご説明をさせていただきましたが、昨年11月に香南市自転車活用推進計画を策定し、今後は、そちらの方で自転車に関する事業の進捗を図っていくことといたしました。また、今後は、その計画から、当計画の観光分野に事業等があればリンクしていくということで、令和3年度のご報告が本計画の委員会としての最後のご報告となります。

サイクリング専門委員会の数値目標は、サイクルイベント大会参加者数とサイクルサポーター数となっています。令和3年度の対象サイクルイベントの大会参加者数は、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止や少数開催で780人の目標値に対し、実績値が135人となったことから、達成評価はCとなりました。

また、サイクルサポーター数も目標値5団体に対し、新規追加がなく、達成評価はCとなりました。

目標達成に至らなかった要因といたしましては、コロナ禍によりイベントの中止や少人数での開催により、目標値を超えることができなかったことが主な要因であります。

また、令和2年度から始まった子どものキックバイクイベント等、定番化しているイベントもあるので、大会参加者数を伸ばすよう取り組んでいきます。

次にサイクリング専門委員会の数値目標に繋がる各取り組みについて、ご説明させていただきます。

戦略の柱となる観光 サイクリスト誘致、サイクルツーリズムの推進における具体的な取り組みの1. レンタサイクル推進事業では、香南市で遊ぼう割 Vol.2+泊まろう割♪キャンペーン事業により、利用者は増えてきましたが、年末年始のコロナ感染者の拡大により、キャンペーンの停止や利用対象者のエリア縮小もあり、目標値まで届きませんでした。

令和3年度末に整備された、道の駅やすに設置されたレンタサイクル施設により貸出台数の増加も見込めることとなっています。

また、本年度、自転車のまち香南市の PR 事業と致しまして、香南市レンタサイクルわくわくキャンペーンを 5 月 1 日から 7 月 31 日まで開催をしております。

連休中も多くのお客様の利用があり、好評でございました。

内容といたしましては市内のレンタサイクル施設で自転車をレンタルすると 1 台につき、500 円の地元協力店舗約 50 店舗で使用できるお買い物クーポン券がもらえるキャンペーンを行っております。

自転車による周遊観光の促進と店舗への誘客を図り、経済波及につなげていく取り組みを進めていきます。

次に 31 ページをお願いします。健康づくり 市民向けの取り組みの自転車を活用した健康づくりの 1. 健康サイクリングの開催では、令和 3 年 7 月から第 1 日曜日を健康サイクリング開催の日として、定期的に開催してきました。

また、健康サイクリング開催に合わせて、サイクリングターミナルを主会場に、自転車を活用した座学も開催しています。

次に 33 ページをお願いします。自転車を活用したまちづくりの推進の、1. 香南市自転車活用推進計画の策定につきましては、令和 3 年 11 月末に計画策定を行いました。

今後、計画を実行していくことで市民の皆様にも、自転車のまち香南市として周知できるよう、PR にも努めてまいります。

また、前回の策定委員会でも報告させていただきましたが、サイクリング専門委員会としての報告等は今回で終了となります。計画ができたことから、今後は、自転車活用推進計画策定委員会でしっかりと PDCA の進捗を図り、観光分野と連携をさせていただきたいと考えています。

以上でサイクリング専門委員会の説明を終わります。

(赤池委員長)

ありがとうございました。最後に住宅分野についてお願いいたします。

(建設課 岡崎課長)

住宅分野につきまして、令和 3 年度の実績からご報告いたします。

資料 1 の 35 ページをご覧ください。住宅分野では、住環境の整備・支援と空き家対策への取り組みの 2 本を戦略の柱として取り組みを進めておりますが、数値目標の設定は行っておりません。

まず、住環境の整備・支援として取り組んでおります、香南市住宅リフォーム推進事業でございますが、本事業は住宅分野の取り組みの中でも比較的人気の高い事業となっております、多くの市民の皆様にご利用いただいているところでございます。令和 3 年度の実績といたしましては、申請数が 99 件、1,500 万円の予算額に対しまして 1,499 万円の執行を行っております。

実施されているリフォーム工事の総事業費といたしましては、1 億 1,446 万円となっております、本市の経済活動の発展に寄与しているものと考えており、引き続き取り組んでまいります。

次に、市営住宅に関する事業に関しましては、公衆衛生の向上及び福祉対応型改修と生活環境の改善の 2 つの取り組みを行っており、公衆衛生の向上と福祉対応型改修の取り組みであります合併浄化槽及び手すりの設置では令和 3 年度の目標値に達しておりませんが、今後の利用方針を考慮したうえでの実施減となっております。生活環境の改善の取り組みの玄関ドアの取替におきまして、令和 3 年度は実施できていない結果となっておりますが、これは、入札の不調により工事期間等を検討の結果、令和 3 年度中の実施が困難と判断し令和 4 年度へ

繰り越して実施することとしたためとなっております。

次に、宅地造成整備事業につきまして、ご説明いたします。本資料におきましては、再検討を行い、方針を定める旨の記載をしておりますが、ご存じの方もいらっしゃると思いますが香我美町で計画しておりました本事業につきましては中止することとしております。

次に、住宅等の耐震化事業についてご報告いたします。36 ページをお願いいたします。

住宅の耐震化につきましては、診断、設計、改修工事の一連の流れ、それぞれに対し補助金による支援を行い、耐震化の促進に取り組んでおります。令和 3 年度の実績についてでございますが、3 つの項目とも目標を達成することができておらず、さらに、年々減少傾向となっております。これは、コロナ禍でもあり、思うように戸別訪問を実施することができなかつた事が原因の一つと考えておりますが、未実施の対象数の減少や、年数の経過に伴う老朽化の進行による断念等も要因となっているのではないかと考えております。

次に、37 ページの、コンクリートブロック塀等の耐震対策事業につきましても、先ほどと同様に目標達成に至っておらず減少傾向となっております。

こちらの事業につきましては、他県での地震発生等、関心が高まりますと問い合わせ件数等が増加する傾向にございますが時間の経過と共に関心の低下が顕著に感じられます。

耐震化に関する事業は、南海トラフ地震対策に大変重要となっておりますので、今後は、今までの広報誌や HP、チラシの配布等と併せ、戸別訪問や様々な機会をとらえての広報活動に力をいれ周知を行うとともに、関心を持ってもらえるよう努めてまいります。

続きまして、2 つめの戦略の柱となっております空き家対策事業についてご報告いたします。

まず全体として空き家対策を進めていくうえで重要となっております、空き家情報の収集につきましては令和 2 年度末に各まちづくり協議会に依頼し、地域で把握している空き家情報を提供していただく取り組みを行っております。情報の掘り起こしと共有によりまして、各対策事業のスムーズな推進につなげていきたいと考えております。個別の事業といたしまして、老朽住宅等除去事業では、令和 3 年度の目標に少し届かない結果となりましたが、問い合わせは多く、今後も目標達成に向け、周知・啓発に努めてまいります。

次の、空き家バンク事業につきましては、評価は達成度 B となり目標達成とはなっておりませんが、地域との情報共有等、空き家の掘り起こしを行い、件数的には、ほぼ目標値に近い数字を上げることができておりますので、引き続き、現地調査や所有者との調整等を進めてまいります。

次に、空き家改修事業について申し上げます。38 ページをお願いいたします。

空き家改修事業には、改修規模の違いにより、規模の大きい空き家改修と、規模の小さい空き家修繕とがございりますが、それぞれの事業の実績は、空き家バンクに登録されております空き家の状態と、所有者や使用者の事業実施のタイミング等により左右されるため、令和 3 年度につきましては、改修事業は目標に近い実績となりましたが修繕事業は実績が少ない結果となっております。

続きまして、令和 4 年度の取り組みにつきましてご報告いたします。資料 4 の 21 ページをご覧ください。

各事業とも、昨年度と同等の目標値を設定し、継続した取り組みを行う計画としており、市営住宅の住宅環境の改善の取り組みでは、令和 3 年度からの繰り越し事業となっております玄関ドアの取替工事 48 戸を実施する計画です。

また、住宅耐震化事業では、戸別訪問の強化等、啓発や周知に取り組み、空き家対策事業では、連携を強化して掘り起こしを進めてまいります。

最後に、参考資料 1 の 2 ページをご覧ください。令和 3 年度の第 2 回策定委員会でご意見をいただいております。

した、「住宅分野での目標設定」につきまして本部会内で協議いたしました結果をご報告いたします。

本部会は、各産業分野の担い手となる方の住環境に対する事業を推進しておりますが、実施しております各事業では、市の産業振興に寄与する部分は少なく、また、その意味においては数値目標の設定が困難であると判断いたしました。

この結果を踏まえ、住宅分野及び住宅部会につきましては、令和3年度を最後とし、令和4年度以降の産業振興計画の分野別部会の設置を解くこととしたいと考えております。

ただし、建設課で取り組んでおります「香南市住宅リフォーム推進事業」につきましては、市内事業者への工事発注を要件としており、産業振興につながる取り組みとして、今後は商業部会でのKPIとして編入したいと考えております。

その他の事業につきましては産業振興計画からは離れますが、各課の事業として継続して取り組みを進めてまいります。住宅分野からは以上となります。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

それでは観光についてですが香南市の観光の状況について、また、インバウンドについては、ちょうど6月1日からだと思いますけれど、水際対策で、日本青チームは日本入国後の隔離期間が0ということで、高知大学でも留学生の受け入れについて今再開をしようと準備しているところでございます。

観光の状況についていかがでしょうか。

(森尾委員)

先ほど課長の方からもお話がありましたけれども、現在、香南市いこいこキャンペーンというキャンペーンを開催しております。

こちらは去年と名称は違いますが実施しております、非常に多くの方にご利用いただいています。

昨年度はコロナの状況によりまして利用の適応とされる地域が狭まったり、中止したりと色々ございましたけれども合計で31,287人の方に利用いただきました。

令和4年度はいこいこキャンペーンと名前を改めまして新たに取り組んでいるところですが、福井委員からもお話がありました「ただのキャッシュバックだけではなく、ワクワクするような、初めてのお店に行ってくださいようなこと」、「スタンプラリー、フォトラリー」等、すぐの反映は難しいかもしれませんが、いただいた意見を参考に、周遊を促進するような仕組みについても検討していければと感じたところです。

また、もう1つ、先ほど課長からもご紹介がありましたが、市内の約50店舗をめぐって、サイクリングで周遊しながら、新しいお店にも足を運んでいただきたいなという取り組みもしています。

また、先ほどのご意見の中でも、学校関係の方にもPRしてはどうかというふうなご意見がありましたので、現在、観光施設等様々なところにチラシ等を持ち込み、置いていただくように周知をしているところですが、学校関係にも積極的にそういった取り組みをして行きたいと思っております。

インバウンドに関しては、少しピンと来てないところもあるんですけども、そういったものを見越して、昨年度物部川DMO協議会さんに、SNSの講習等を実施していただいたりしております。

インバウンド向けものだけではなくて、そのSNSの発信についても、こうしたらいいよってというような講師のアドバイスもありましてすごくいいものでした。

観光協会が発信しておりますインスタグラムの登録者数もその研修後で学んだことに取り組んだことによって非常に伸びたと感じています。

今後もいろんな部門で勉強しながら香南市を周遊していただけるもの等に取り組んでいきたいなと思っております。

また、井上ワイナリーさんもオープンして、非常に活気づいているという気がしておりますので、地域の皆様もすごく期待をしていると思いますし、私たちもそこでのロケーションや時間の過ごし方等もいろいろご提案をして行きたいなというふうに思っております。

(赤池委員長)

ありがとうございます。観光ですと、香南市だけではなくて、特に周辺の物部川流域ということも考えられます。この物部川エリアの観光について、小笠原委員と三浦委員より少しあの広域的な観光のお話をいただきたいと思っています。

(小笠原委員)

インバウンドに関しましては、もともと秋口からではないかという予想が昨年度ありましたが思っていたより早く動いたという印象です。

実際に、もう予約が入っているということはないですが、9月末にツーリズムエキスポという世界最大級の祭典が東京で開催されまして、そのあたりを皮切りにインバウンドの動きが加速するのではないかなと予測しております。

先ほど森尾委員がおっしゃってくださいました インバウンドや SNS の研修に関しましては、私たちが予想したのは、まだまだ国内向けに発信をするということ想定していたのですが、受講頂いた方々からは、「改善してみたが外国人からの いいね がない。どうしてだろうという」というようなことに対してのアフターフォローが欲しいという声も頂いており、みなさんの目線は世界に行けると力強く感じているところです。

香南市の観光 PR 活動につきまして、令和3年度はB評価ということだったんですけども、県外に対してのPRがなかなか動かなかったところなんですけれども、本年度に入りましては、6月4日より関西の空港周辺イベント等も開設されまして、私どもも香南市さんのもの等もPRをもちろん一緒にさせていただくように予定も入っておりますし、7月、8月には、また別の関西のところで、高知県のフェア等が行われる計画になっているので、これまで止まっていたPR活動が解禁されるといういますか、元に戻っていくのではないかなと明るい兆しが見えているところです。

また、あのユニバーサルツーリズムというところも上げておりまして、香南ユニバーサルプロジェクトというものもYASU海の駅クラブさんが中心に立ち上げてくれまして、体の不自由な方でも、高齢の方でも、赤ちゃん連れの方でも、この物部川エリアを、香南市を中心に観光で楽しんでいただけるような取り組みができそうになってきております。

明るい兆しが見えていると思っています。

(赤池委員長)

ありがとうございました。物部川エリアの観光の状況や県の産業振興計画のアクションプランの関連等について総括的にお話いただければと思いますが、お願いできますでしょうか。

(三浦委員)

皆様ご存知のとおり、来年4月から、NHKの朝ドラが牧野富太郎先生をモデルとして始まります。

朝ドラになりますので、国内のお客様を想定しているということではあるんですけども、そこを見据えて、県内外への取り組みを既に動きを始めているところでございます。

また、ご存知のとおり、行動制限がなくなっていますので、5月の連休でも非常に県外から多くのお客様が来られているという状況が続いています。

コロナの状況からいつ脱するのか、復活するのかというのは、正直まだわかりませんが、5月の連休はかなりお見えになっていました。

今はちょっとペースダウンしている状況なんですけれども、コロナ禍における主要な施設は、これまでの倍ぐらいの入れ込み客数が戻っているという状況でございますが、コロナ前まではなかなか戻ってないということでございます。

この4月から物部川エリアを担当させていただくということになったんですが、委員長が言われたように、香南市だけで観光を、お客様をどう回していくかではなく、エリアとして周遊をしていただきたいと言うようなこともあるでしょうし、もっと言えば、高知県東部との連携等も視野にいれた取り組みも必要だと思いますし、その中継地点としても、どんどんお客さんも引っ張って来れるでしょうし、とにかく空港に近いということ、高速道路にも近いということ、これは非常に県外のお客様にとってウリだと思います。

団体のバスが、言い方は誤解を招くかもしれませんが、現状壊滅状態で、旅行形態は家族連れのマイカーでお見えの県外のお客様が非常に多いそうです。

団体を伸ばすというよりは車でお見えになるお客様をいかに県内で周遊させていこうかということで考えてますので、その意味で香南市周辺をどうやって車で寄っていただくかといったような提案の仕方を皆様とも相談しながら進めさせていただきたいと思っております。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

部会について、部長からもコメント頂き、また、全ての委員のみなさんからご発言をいただきました。

これまでの協議で産業振興計画について、現状確認を頂いたということになります。

ここからは2つ目の議事となります。香南市の産業振興計画の改定についてです。

事前に資料の見方についてと言う資料をお送りいただいたことに加え、各分野より、変更点等のご説明等もございましたが、先ほど住宅分野のほうから説明がありましたように、住宅分野はこの産業振興計画の中からは除くという部分が大きい変更点となります。

ただし、リフォーム補助金事業に関しては、市内事業者を活用する事業であって、経済波及効果に寄与しているという観点から今後は、商業部会の方で進捗を管理していき、さらに、住宅に関するものについては、この親計画にあります 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部と関連させて残って行くということでございます。

その点について、本日みなさんからご発言いただきました内容についても事務局で反映をさせていただくということで、みなさんにおはかりをさせていただきたいと思いますが、住宅分野の件も含めて、本計画の改正案はそのような整理でよろしいでしょうか。認めていただけますでしょうか。

この計画の進捗の状況と分野の変更点についてご確認いただいたということでもよろしいでしょうか。

※異議なし

長時間にわたって本当にありがとうございます。

最初に申し上げたとおり、この産業振興計画というのは、県内市町村で策定しているのは香南市しかないと思います。

それにも関わらず、各部会のみなさんの見ていると出席率もかなり良くて、一生懸命ご議論いただいて、また分野を越えた取り組みっていうのをしていただいているっていうのはすごいことだというのが私の印象です。

次回、みなさんに、お会いするのは秋口以降だと思います。

コロナの状況についても、明るい兆しが少しずつ見えてきたという状況ですので、また来年度、今年度の取り組みについてしっかりとみなさんに報告できるように、事務局と共に準備をしまいたいと思います。

それでは私の司会進行の方、これで終わらせていただき、事務局にお返し致します。

(商工観光課 小林主幹)

本日は、赤池委員長をはじめ、委員の皆様には長時間にわたり熱心なご議論をいただき、ありがとうございます。

本日頂きましたご意見は、各部会におろすとともに、関係致します計画とも共有し、今後活かしていきたいと考えています。

最後に「来年度のスケジュールのご説明」をさせていただきます。

参考資料2をご覧ください。

昨年度は開催を見送りました合同部会や講演会につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況も見ながら行えるようであれば実施に向けて調整を図りたいと考えています。

また、次回の策定委員会でございますが、こちらにつきましては、現在調整中となりますので、決まりましたらご連絡をさせていただきますが、事務局といたしましては、令和5年1月30日を軸に調整を行っておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、内容といたしましては、「令和4年度の取り組み状況の確認と令和5年度に取り組む内容」をお示ししたいと考えています。

それでは、以上を持ちまして、本日の会を終わりにいたします。本日はありがとうございました。